

女川2号工認 指摘事項に対する回答整理表(計測制御系統施設)

No.	指摘日	図書種別、 図書番号	図書名称	該当頁	コメント内容	回答内容	資料等への 反映箇所	回答状況	備考
1	2020/10/28	共通(基本 設計方針)	基本設計方針に関する 説明資料【67条 水素 爆発による原子炉格納 容器の損傷を防止する ための設備】	2	水素濃度計を格納容器内に設置するが、格納容器内 の環境条件(スプレー等)において、性能が確保でき ることを説明すること。	水素検出器については、設置個所である原子炉格 納容器内の環境条件を考慮した耐環境試験を実施 し、健全性を確認している。 また、水素検出器の設置位置をドライウェルスプレ イ管、サブプレッションチェンバスプレイ管それぞれの設 置位置より高い位置とすることで、直接スプレー水が かかることを防止するとともに、上部に飛沫防止カ バーを設置することで、被水の影響を受けないように している。	VI-1-5-1 計測装置の 構成に関する説明書並 びに計測範囲及び警報 動作範囲に関する説明 書	今回回答	
2	2021/1/19	VI-1-3-1	VI-1-3-1 使用済燃料 貯蔵槽の温度、水位及 び漏えいを監視する装 置の構成に関する説明 書並びに計測範囲及び 警報動作範囲に関する 説明書	17	可搬型計測器について、必要な個数の考え方を整理 して説明すること。	可搬型計測器については、重大事故等時に監視する パラメータの各分類(原子炉圧力容器内の温度、圧 力、水位、注水量等)で1個以上のパラメータを計測で きるようにするため、1セット26個(必要数25個、予 備1個)と予備1セット26個を配備することとしている。	補足-340-1 計測装置 の構成並びに計測範囲 及び警報動作範囲に関 する補足説明資料	今回回答	

女川2号工認 記載適正化箇所(計測制御系統施設)

No.	図書種別, 図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	完了年月日	備考
1	VI-1-5-1	計測装置の構成に関する説明書並びに計測範囲及び警報動作範囲に関する説明書	—	原子炉格納容器内の水素濃度及び酸素濃度監視設備について、設置許可時の補足説明内容を記載しました。 【記載箇所】 3.1.1 測定原理 3.7 格納容器内水素濃度(D/W)及び格納容器内水素濃度(S/C)の電源供給について	2021/3/30	
2	補足-340-1	計測装置の構成並びに計測範囲及び警報動作範囲に関する補足説明資料	—	原子炉格納容器内の水素濃度及び酸素濃度監視設備について、設置許可時の補足説明内容を記載しました。 【記載箇所】 1.2 計測装置の測定原理 1.5 格納容器雰囲気水素濃度及び格納容器雰囲気酸素濃度の電源供給について 1.6 格納容器内雰囲気ガスサンプリング装置における測定ガス条件の水素濃度及び酸素濃度計測精度への影響について 1.7 格納容器内雰囲気ガスサンプリング装置内における水素の滞留について 1.8 格納容器内雰囲気水素濃度及び格納容器内雰囲気酸素濃度の計測に伴うサンプルガスの冷却について 1.9 格納容器内雰囲気ガスサンプリング装置からの水素漏えい防止対策について 1.10 格納容器内雰囲気ガスサンプリング装置の計測時間遅れについて 1.11 格納容器内雰囲気水素濃度及び格納容器内雰囲気酸素濃度における湿分補正について 1.12 原子炉格納容器内の酸素濃度検出器の選定について	2021/3/30	